



石神井中だより

練馬区立石神井中学校

校長 櫻井 弘

令和5年5月12日

第2号

「体育祭に向けて」

主幹教諭 日座 正太

体育祭の時期がやって来ました。選手決めも終わり、体育では学級リレーや学年種目の練習が始まっています。私が授業をしていても、校庭から元気な声が聞こえてきます。コロナ禍前の体育祭が戻っていたようで、とてもうれしい気持ちになっています。

さて、練習が本格的に始まっていく中で、生徒の皆さんに伝えたい言葉があります。私が尊敬している、元テニス選手の松岡修造の言葉です。今から紹介する3つの言葉を参考にして、体育祭の練習に取り組んでみてください。

「ミスをするのは悪いことじゃない。それは上達するためには必ず必要なもの。ただし、同じミスはしないこと。」

種目の練習をしていく中で、どのクラスもたくさんのミスをするでしょう。それにイライラして、クラスメイトのミスを責めていては、クラスの雰囲気が悪くなり、練習自体も前向きに取り組めなくなってしまいます。まずミスした本人は素直にミスを認めて、反省しましょう。その上で、クラスメイトもミスした人に対して、責める言葉ではなく、改善していくための言葉かけをしていきましょう。そうすることで、ミスが成長するきっかけとなり、良いパフォーマンスにつながっていくはずですよ。

「勝ち負けなんか、ちっぽけなこと。大事なことは、本気だったかどうかだ！」

全クラスが優勝を目指して、練習していくことになると思います。ただし優勝できるのは、学年でたった1クラスのみです。他のクラスは優勝できないこととなります。優勝できなかったクラスにとって、体育祭は失敗なのでしょうか。そんなことはありません。練習の過程でみんなが本気で取り組んでいけば、どんな結果になろうとも、必ず素晴らしい思い出となります。結果も大切ですが、クラス一丸となって、本気で取り組むことを大事にしていきましょう。

「反省はしろ！後悔はするな！」

練習でのミスに対し、大いに反省し、お互いにアドバイスをし合って、改善を図っていきましょう。不安を残したまま体育祭当日を迎えてしまうと、後悔してしまうこととなります。練習でやり残したことがないように、1回1回の練習に真剣に取り組んでいきましょう。

3年生にとっては、中学校最後の体育祭となります。練習に本気で取り組み、後悔のない体育祭を作り上げてほしいと願っています。後輩たちのために全力の姿を見せてあげてください。体育祭当日までまだ時間はあります。皆さん、頑張ってください。

今は学校中が体育祭の話題で持ち切りです。みんなが体育祭に向けて頑張っています。石神井中学校の生徒みんなで力を合わせ、コロナ禍後の新しい体育祭を作り上げていきましょう。